

映像内活動度可視化ツール：ActVis

西口 敏司 (にしぐち さとし)
情報科学部 ネットワークデザイン学科 准教授



用途・応用分野：教育、防犯、エンターテインメント

■ 研究シーズ概要

ActVis (Activity Visualization) は、映像中の活動度の可視化により、利用者が必要とする情報を取り出す作業を支援するツールである

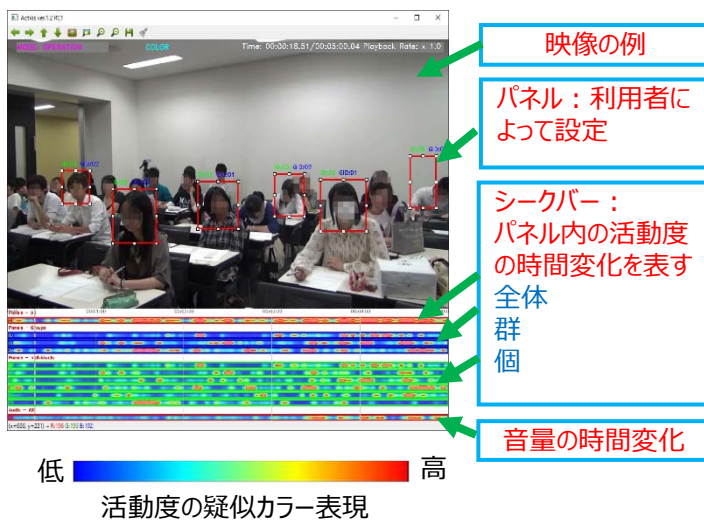


図1. ActVisの概観



図2. ActVisが提示可能な多彩な可視化モード

■ 研究シーズの特徴

映像内で動きのある部分を可視化することで、効率的な映像の見直しを実現する。観察対象の活動は映像全体を通してシークバーで表現され、利用者は動きのある時間区間に注目して視聴することができる。

- ①映像パネル内の動きの内の個々の観察対象をパネルにより容易に指定可能
- ②多彩な可視化モードを持ち、映像内の観察対象同士を近くに並べて比較しながらの分析が容易

